

オープンイノベーションの Webサイトおよび検証・開発ラボの概要

- オープンイノベーション推進のため、外部から広く取り入れた新たなアイデアなどを検証し、ICT技術を活用した付加価値サービスを開発する「場」をご提供



アイデア

ベンチャー企業、
大学、研究機関等



■ COE (Webサイト)

当社取り組みの紹介
(今後、Web上でアイデアや
サービスを募集していく予定)
URL : <http://coe.chuden.jp>



お客さま

付加価値
サービス



■ COLab (検証・開発ラボ)

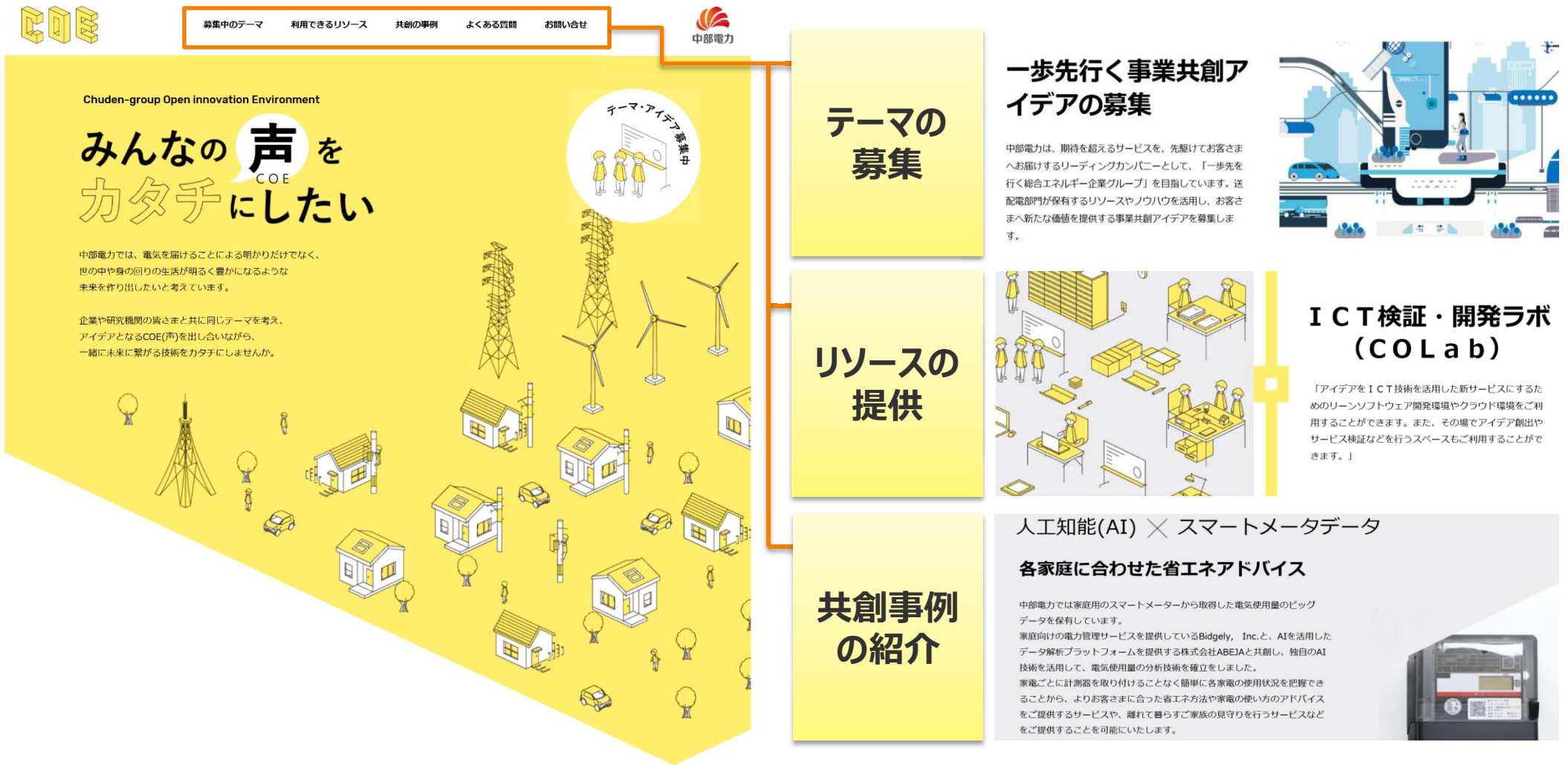
最新のICT技術、オープン
ソースソフトウェアの検証
所在地：名古屋市東区東桜2-13-1



社会

サイト名 : COE (声) (Chuden Open Innovation Environment)

コンセプト : アイデアとなるCOE (声) をみんなで出し合って、未来に繋がる技術をカタチにしたい。



The diagram illustrates the COE website structure. At the top left is the COE logo. A navigation bar includes links for '募集中のテーマ' (Themes being collected), '利用できるリソース' (Resources available), '共創の事例' (Cases of co-creation), 'よくある質問' (Frequently asked questions), and 'お問い合わせ' (Contact us). The main content area is divided into three vertical sections: 'テーマの募集' (Theme Collection), 'リソースの提供' (Resource Provision), and '共創事例の紹介' (Introduction of Co-creation Cases). Each section is accompanied by a detailed text box and an illustrative image.

Chuden-group Open innovation Environment

みんなの声をカタチにしたい

COE

中部電力では、電気を届けることによる明かりだけでなく、世の中や身の回りの生活が明るく豊かなような未来を作り出したいと考えています。

企業や研究機関の皆さまと共に同じテーマを考え、アイデアとなるCOE(声)を出し合いながら、一緒に未来に繋がる技術をカタチにしませんか。

テーマ・アイデア募集中

テーマの募集

中部電力は、期待を超えるサービスを、先駆けてお客さまへお届けするリーディングカンパニーとして、「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」を目指しています。送配電部門が保有するリソースやノウハウを活用し、お客さまへ新たな価値を提供する事業共創アイデアを募集します。

ICT検証・開発ラボ (COLab)

「アイデアをICT技術を活用した新サービスにするためのリーソフトウェア開発環境やクラウド環境をご利用することができます。また、その場でアイデア創出やサービス検証などを行うスペースもご利用することができます。」

人工知能(AI) × スマートメータデータ

各家庭に合わせた省エネアドバイス

中部電力では家庭用のスマートメーターから取得した電気使用量のビッグデータを保有しています。家庭向けの電力管理サービスを提供しているBiggely, Inc.と、AIを活用したデータ解析プラットフォームを提供する株式会社ABEJAと共創し、独自のAI技術を活用して、電気使用量の分析技術を確立しました。家電ごとに計測器を取り付けることなく簡単に各家電の使用状況を把握できることから、よりお客さまに合った省エネ方法や家電の使い方のアドバイスをご提供するサービスや、離れて暮らすご家族の見守りを行うサービスなどをご提供することを可能にいたします。

Copyright © CHUBU Electric Power Co.,Inc. All Rights Reserved.

アイデアを具現化し、その有効性を確認するためのICTシステム検証・開発環境を提供

Room A

ワーキング
スペース



ベンチャー企業や、大学、研究機関の皆さまとともにアイデアを出し合い、新たなサービスの仮説を設定。

Room B

スコーピング
ルーム



サービス内容を具現化するため、ターゲットとなるお客さま像の設定やサービス提供の優先度設定を実施。

Room C

ソフトウェア開発
ルーム



最新のICT技術を活用し、アジャイル開発手法によりサービスを実現するソフトウェアを開発。

Room D

新技術検証
ルーム



AIやビッグデータ、音声認識、解析技術、センサー技術などの最新のICT技術を検証。

※写真はイメージ ラボの運営は(株)中電シーティーアイが実施